

国際交流員マシアスのコラム

ドイツのジョーク

皆さんドイツ人に対してどのようなイメージを持っていますか。おそらく仕事をきちんとする真面目な人々だと思っ

ているのではないのでしょうか。しかし、真面目なドイツ人もやっぱり楽しいことや面白いことが大好きです。日本人の皆さんもそうでしょうか？だから今回のコラムでは、ドイツで有名な面白いジョークを紹介しま

す。

① ニつのゴール
 あるサッカー選手が、サッカーの試合の後、家に帰ってきて、嬉しそうにお母さんに自慢しました。

選手「お母さん！今日ボクは2つゴール決めたよ！」

お母さん「えっ、すごいね！じゃあ試合の結果はどうだったの？」

選手「1対1だったよ。」

② 裁判所
 裁判所で、裁判官が被告に聞き

ました。

裁判官「どうしてあの車を盗みま

したか？」

被告「朝寝坊して遅刻しそうにな

り、早く会社につきたかったから

です。」

裁判官「そうですか。では、なぜ



お母さん「え、双子だから弟は二人できたでしょ。」

ロバート「だって、もう一回早く帰れたかったから。」

④ 森の中
 二人の男がリュックサックを背負って森の中を散歩していました。すると突然、大きな黒い熊が二人の前に現れました。そして一人の男が履いていたブーツを脱ぎ、リュックサックから取り出した運動靴を代わりに履きました。それを見たもう一人の男が「えっ、運動靴を履けば熊より速く走ることができると思いませんか？」と聞きまし

た。すると男はこう答えました。「熊じゃなくて、あなたより速く走ることができたら十分だと思います。」

⑤ ヘビの知りたこと
 砂漠で二匹のヘビが出会い、こんな会話をしていました。

「えーと、私たちは毒ヘビでしたっけ？」

「よく知らないけど、毒ヘビじゃないと思いますよ。どうしてですか？」

「今舌を噛んじゃったから…」

どうでしたか？面白かったですよねか？皆さん他に面白い話やジョークを知っていたら、教えてくださいると嬉しいですよ。



お母さん「えっ、すごいね！じゃあ試合の結果はどうだったの？」

在住外国人向け日本語教室のご案内

下野市国際交流協会では、日本に住んでいる外国人を対象とした日本語教室を開いており、日本語講師ボランティアの方々やマンツーマンで外国人の方に日本語を教えています。教える日本語は、平仮名から日常会話、日本語検定試験に向けたものなど、外国人の方のニーズに合わせて。

もし皆さまの周りで日本語を学びたいと考えている外国人がいらっしゃいましたら、日本語教室をご紹介します。お気軽にどうぞ。

■日時・場所
 毎週土曜日
 ・午前10時～11時30分…グリーンタウンコミュニティセンター
 ・午後7時～8時30分…グリーンタウンコミュニティセンター
 ・午後7時～8時30分…石橋公民館
 毎週日曜日
 ・午後3時～4時30分…石橋公民館
 ※第3日曜日は休講

■受講条件・受講料
 受講料は無料です。ただし、受講者には、下野市国際交流協会の会員になっていただきます(年会費1,000円)。

■申し込み・問い合わせ先
 下野市国際交流協会事務局(下野市役所市民協働推進課内)
 ☎(40)5585



携帯電話 市ホームページ



PC・スマホ 市ホームページ

TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎0285(40)5550 情報広報グループまでご連絡ください。